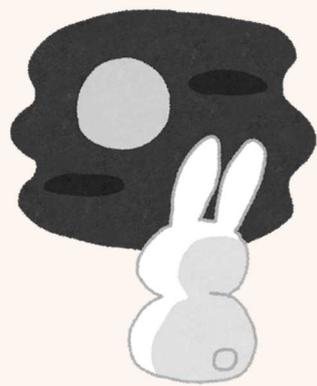


ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句



湯上りの素足ひやりと芝の上

西町 金澤頼子

下書きをして出すはがき残暑かな

西町 杉浦とし枝

立木より命もやして秋の蟬

元町 印牧安子

猛暑日の洗濯かなり心地良し

藤本町 鈴木ゆき子

延えんと襲う炎暑や五輪果つ

緑町 池田良子

すれ違う子等の微笑み爽やかなる

仲町 坂部和子

オリンピックク日夜感動ひまわり咲く

西岡町 高瀬久美子

朝顔に隠れし窓の話し声

西岡町 渋谷みさ子

学童の朝のあいさつ爽やかに

元町 西崎弘子

盆参り白檀の香にいやされし

東町 高橋世津子

永らへとほほどの日日水の秋

仲町 玉野研一

秋の蚊のゆらり見逃す陽の陰り

仲町 梅基文子

氷入れグラスを満たす昼真中

西町 文梨清子

海の峯山の峯あり盆の膳

西原町 児玉久美子

コロナ禍に星と見ている遠花火

旭町 大河博子

空き缶に氷柱しずくの和音かな

仲町 芳賀星子

秋バラの香りの中を通りけり

南桜町 宮腰幸子

消防車音忙しなく夏日行く

西町 岸波君江